

# 大分合同新聞

## ワークシート

大分県を発信しよう

年 組 名前

- ① 記事に出てくる「オセアニア」「欧米」にはそれぞれ、どんな国や地域があるでしょうか。例として一つずつ挙げましょう。

(オセアニア)

オーストラリア、ニュージーランドなど

(欧米)

アメリカ合衆国、イギリス、フランスなど

- ② 大分県は2017年から2021年で、県内の外国人宿泊客を何%増やそうとしていますか。%部分を、小数点以下を四捨五入した上で整数で答えましょう。

$$163 \div 139 = 1.1726 \dots$$

%にするには100をかけて117.26...

小数点以下を四捨五入し117

$$\text{増加分は } 117 - 100 = 17$$

答 17%

- ③ 外国からのお客が大分県に来て困りそうなことや、自分たちがしてあげたいと思うことを自由に書いてみましょう。

解答省略

相手の立場に立って思いつけたかな？

### あと253日 W杯へ情報発信強化



国の統計によると、県内外国人宿泊客は韓国や中国など東アジアが9割で、それ以外の国・地域はほぼ訪れていない。W杯は欧米・大洋州の6チームが県内でキャンプをして試合に臨むため、県は客層を広げるチャンスと捉えている。2018年度は海外メディアやフランスの大手旅行誌、イギリスのラグビー専門誌

今年ラグビーワールドカップ(W杯)でインバウンド(訪日外国人客)を取り込もうと、大分県は欧米やオセアニアへの情報発信を強化している。海外の旅行雑誌への記事掲載や、現地でのイベント参加などで売り込み、県版観光情報サイトもリニューアルした。W杯では海外から多くの観戦客が訪れる見通しで、県内への誘客につなげる。



# オセアニアや欧米客を県に

## 海外の旅行誌に記事 現地イベントでPR



ラグビーワールドカップに向け、県内で試合をするオーストラリアでPR=昨年12月(県提供)

なごに県内の魅力を紹介する記事が掲載された。別府市の湯煙の景観や宇佐神宮、久住高原など歴史や文化、自然を満喫できる場所が好評だったという。また、ツーリズムおおいと連携し、国外に足を運ぶた。同9月にはアジアでラグビー熱が高いシンガポールを紹介している。

17年の県内の外国人宿泊客は約139万人。現在策定を進めている次期の「ツーリズム戦略」の素案は、21年の目標を163万人に設定している。W杯や翌年の東京五輪を追い風に、海外誘客を促進する戦略を描く。

県観光・地域振興課は「県内の試合は好カードが多く、世界的に注目されている。19年度はW杯が開催されるだけに国外向けの情報発信を一層増やしたい」としている。(加納慶)